

赤門だより

vol. 54

特集

「介護職員の輩出と専門知識・
技術を養う研修事業」



介護職員の輩出と 専門知識・技術を養う研修事業

管理部 総合企画 赤門だより編集発行室



実務者研修演習の様子：
右片麻痺の方を想定したベットから車いすへの
移乗介助。

日本では団塊の世代が75歳を迎える2025年には高齢者が2200万人となり、4人に1人が高齢者になる超高齢化社会を迎えます。要介護者は604万人（要介護1～2の方が297万人、3～5の方が307万人）特別養護老人ホームなどの施設利用者が144万人、認知症を患う方が700万人になると推計されています。そのような社会構造が想定される中で、国は「住み慣れた地域で長く

安心して暮らす」という方針を示し、「住まい」を中心として、介護予防・介護・医療・介護保険外サービスなどが切れ目なく提供されることで生活が持続していくと考えています。在宅や施設において、認知症ケア、医療依存度の高い要介護（要支援）者の支援、看取りなど、資格や専門的な知識、居宅介護支援専門員、医師、看護師などの多職種間との連携が介護従事者に求められています。実際に



喀痰吸引等研修：
演習モデルを使い、手技や手順の確認を繰り返しておこないます。
演習評価基準を満たすと、施設にて同意をいただいたご利用者へ、指導者立会いのもと実践となります。

平成24年に「医療と介護の連携強化」、「介護人材の確保とサービスの質の向上」、「認知症対策の推進」などで介護保険改正が行われ、喀痰吸引などの一部医療行為も一定の条件下で介護職員が実施可能になる等の適正化が進んでいます。

医療法人社団慶勝会では「介護福祉士実務者養成研修」と「喀痰吸引等研修※1」を実施しており、今年で3回目、約80名の資格者を輩出してきました。また同研修は自法人職員のみならず、他法人からも広く受け入れています。これは先述した時代背景により、必要な介護人材を育て地域の中で、介護を必要とする人を支えていきたいと考えるからです。また、単に資格を持つ介護職員としてではなく、生活を支援する立場から、生活の場における医療的ケアや生活リハビリ、身近な健康管理について、多職種との連携、協議を進める主導的な存在となり得る「人材」を育成していきたいと考えています。

※1喀痰吸引等研修とは
介護職員による痰の吸引や経管栄養などの一部特定行為を県より認定を受けて行うために必要となる研修

第8回 「毎日の食事を見直して残暑を乗り切ろう」

ポイント

暑い夏は、果物や飲み物、パンや麺類だけなど炭水化物にかたよった食事になりがちです。そのため、たんぱく質が不足しやすくなりますが、一食に一品は肉・魚・卵・大豆製品を取り入れたいものです。あわせて副菜に旬の野菜を取り入れれば、失われがちなビタミン・ミネラルも補給できます。

改善例 1

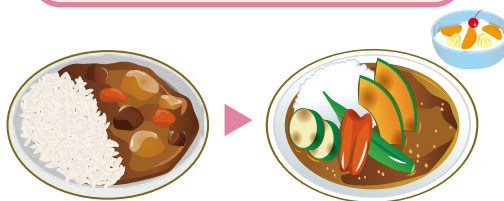


改善前
そうめんのみ

改善後
ハム、錦糸卵、キュウリ、
トマトを乗せて「具だくさ
んそうめん」に。

めんつゆに大葉や生姜などの香味野菜を加えれば食欲も湧いてきます。錦糸卵は、炒り卵や茹で卵にする。生姜はチューブのものを利用することで手軽さが増します。

改善例 2



改善前
ポークカレー

改善後
夏野菜カレー+フルーツ
ヨーグルト

いつも作っているカレーに旬のトマトを加え、夏野菜のカボチャや色とりどりのピーマンをトッピングします。豚肉には、エネルギー代謝を良くするビタミンB群が豊富。ヨーグルトにはたんぱく質も多く含まれています。

たんぱく質がとれているか？多くの種類の野菜を使っているか？を意識して残暑を乗り切りましょう。

食べて元気になる食事の「コツ」を
管理栄養士がご紹介！



赤門整形外科内科
管理栄養士 川端 俊哉

管理栄養士が教える
食べて元気になるメニュー

簡単！家リハ

いつまでも自分らしい健やかな身体をキープしよう！！

vol.11 正しい歩き方

正しい歩き方を継続・習慣化！

ポイント

歩くことは年齢に関係なく、自分の好きな時、好きな場所でいつでも実践できる運動です。しかし、日々の生活の中でわざわざ時間を設けて運動するのは難しいものです。いつもやっている動作を見直し、正しい歩き方を意識することで、生活習慣病予防や健康維持・増進にも繋がります。今回は正しい歩き方についてご紹介します。

専門スタッフが
手軽にできるリハビリ
メニューをご紹介

なのはな館みさき
リハビリテーション科



作業療法士
倉畑明美



理学療法士
西山茉依

① 立ち方の基本



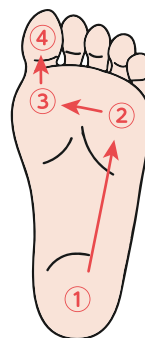
歩く前にまず、「正しく立つ」ことを覚えてから正しい歩き方を始めましょう。身体を側面から観察すると、耳たぶ、肩の中央、大転子、膝関節の前面、外くるぶしのやや前方が一直線になる姿勢

② 正しい歩き方



前かがみにならず、背筋をピンと伸ばします。目線は真っ直ぐ前に向け、顎を引きます。お腹とお尻は軽く締めるように力を入れ、骨盤が前後に動くよう、意識して下さい。肩は力を抜き、自然な感じでリズムカルに腕を振ります。前に出す足は踵から接地するよう振り出し、後ろ足は親指の付け根でしっかりと地面を押して蹴り出します。

③ 正しい足の運び方 足裏の体重【重心】移動



踵からつま先へ①～④の順に体重【重心】移動させながら歩くことを心掛けましょう。
①踵で着地
②小指の付け根
③親指の付け根
④親指で踏み込む

順番などはお好みで回数もご自身の体調に合せ、無理のない範囲でお試ください。
※痛みや日常生活に何か問題が生じている場合は専門の整形外科などにご相談を。

赤門整形外科内科 ご利用のご案内 (平成30年8月時点)

- 診療時間
月～金 (午前) 9:00 ～ 12:00 (午後) 14:00 ～ 18:00
土曜日 (午前) 9:00 ～ 12:00 (午後) 14:00 ～ 17:00
- リハビリテーション
月～金 8:30 ～ 19:00
土曜日 8:30 ～ 17:00
- 外来受付時間
月～金 8:30 ～ 18:00
土曜日 8:30 ～ 17:00
- 休診日
日・祝・祭日、年末年始
(12月30日～1月3日)



最新の外来予定はこちらの
QRコードからご確認いただけます。



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・原爆医療指定・公害・特定疾患・
身体障害者福祉法指定医

医療法人社団 慶勝会 事業所一覧

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼 1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田 110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条 2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼 1637-1
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

館山市地域包括支援センターいちご

〒294-0043 千葉県館山市安布里 237-3
TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116

館山市認知症初期集中支援チームおれんじ

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-29-5301 FAX. 0470-29-5302

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼 1599 番地 1、1 階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

はじめに



私たち医療法人社団 慶勝会は、明治21年（1888年）産婦人科「赤門鈴木医院」の開設を礎として、時代ごとに地域のニーズにお応えすることを使命とし、これまで取り組んでまいりました。これからこの使命を全うし続けてゆくためにも、絶えず邁進してまいります。

赤門の由来

江戸時代に南部藩（現在の盛岡）の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は、交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り（庇）を許されました。この朱塗りの門すなわち「赤門」が名称の由来として今日まで継承されています。



この一枚



大正7年より続く「館山地区合同祭礼」は、今年で100年の節目を迎えた。赤門整形外科内科では、ひと時の憩いの場として駐車場と待合室を解放。多くの地域住民が集うなど、地域との繋がりと、交流を大切にしています。

医療法人社団 慶勝会広報誌「赤門だより」通巻54号
発行・責任：「赤門だより」編集発行室
千葉県館山市沼 1599 番地 1、1 階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301
ホームページ：https://www.keishokai.or.jp
発行日：平成30年8月15日（年3回）
編集・印刷・写真：管理部 総合企画